

コミュニティ ふっ

My home town story

常盤

2023.OCT
137号 10

〔編集発行〕
公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

〔作成協力〕
人と地域が輝く常盤協議会

それにしても今年の夏は暑かったですね。お体は大丈夫ですか。アツい、といえは今年のスポーツ界も熱い。WBCでは侍ジャパンが世界一、バスケットワールドカップでは日本がバリ五輪切符を獲得、ラグビーだって海外で国内で、と躍動する選手たちに目が離せません。さあ、スポーツの秋。ちよとカラダを動かすにも、何かスポーツを始めるにも良い季節。でも、熱中症とケガだけにはご注意ください。

秋、深まる。

4月に田植えをして実りの早いものを早稲(わせ)、田植えを遅くし、稲刈りが遅いものは晩稲(おくて)、その間では中稲(なかて)といいます。8月下旬、早稲の稲刈りが始まりました。朝露も乾いた田んぼでコンバインのごう音とともに刈り取りが進みます。

三上山を背に、空にはアキアカネが飛び交い、バッタも顔を出します。黄金の稲刈り。ここ常盤には秋の景色が一面に広がります。

FEATURE

変えることと変えないこと

志那町サンヤレ踊り保存会

市川和親さん(69歳)・市川良彦さん(59歳)

2022年11月、「近江湖南のサンヤレ踊り」を含む風流踊がユネスコ無形文化遺産に登録されました。草津には7地域でサンヤレ踊りが伝わりますが、片岡・長束・志那・吉田・志那中とその5つまでがここ常盤に集中しています。

地域の伝統を守り伝えるとはどういうことなのか、今回は志那町サンヤレ踊り保存会のお二人に話をうかがいました。

断で3年ぶり、ユネスコ無形文化遺産登録後では初となった志那のサンヤレ踊りが志那神社など地元の神社に奉納されました。

草津のサンヤレ踊りは市内の7つの地域に古くから伝わる民俗芸能。衣装や踊り、お囃子などは地域によって異なりますが、五穀豊穡や疫病退散を願い、「サンヤレ」と歌いながら地区内を巡行するのは共通しています。ここ、志那のサンヤレ踊りは白い法被と黒帯姿、他に比べて太鼓打ちなどの動きにキレがあるのが特徴。それだけ体力も必要なので中学生から25歳くらいまでの人々が踊ります。

♪さあ もーひとおどり サンヤーレ えっ サンヤーレ サンヤーレ

志那の町中に威勢あるかけ声と小気味よい笛・太鼓・鉦の音が響きます。5月3日。コロナ禍による中

14歳になれば

300年以上の歴史があるという志那のサンヤレ。戦時中とコロナ禍以外は途絶えることなく続いてきたというから驚きです。それにしても、どうやってこんなにも長い

間、引き継ぐことができたのでしょうか。来年、古希を迎える市川和親さんです。

「私たちの頃には青年団がありました。地元の男子は14歳になると当たり前のように青年団に入ると時代でした。親も『青年団でしっかり勉強させてもらい』なんて言うくらい、自然な流れでした。青年団には地元での役割がたくさんあります。お寺さんや神社の行事、道直しや川ざらえなんかもそう。青年団の若い世代が地元の生活に密着し、地域を支える大きな力だったし、若者たちもここで地元や社会のルールやマナーを学び、タテとヨコの人間関係を創っていきましたよ」

時代と共に

「サンヤレも青年団の中で引き

継がれていきました。14歳で入るとすぐに太鼓・鉦・踊りなどの役割が決められ、稽古が始まります。足の開き具合から腕の角度まで先輩から手とり足とりで教えてもらいました。それはもう、ピンバシと厳しいものでね。正直、年上の人たちが怖かったですね(笑)。

役の数は10人くらい。毎年、新しいメンバーが入ってくるから、上の人が押し出される格好になります。すると今度は教える側になるわけです。卒業した人や地元の大人たちも稽古を見に来てましたね。みんな祭りが楽しみだったのでしょう。そういう時代でした」

これも時代でしょうか。全国的に青年団が衰退し、ここ志那町でも和親さんが高校生になったころに解散となりました。そこで和親





市川和親さん



市川良彦さん

次へつなぐ

現在は志那町サンヤレ踊り保存会が伝承しています。今の課題は

さんら有志が集まり「若者会」を発足、神社の正月飾りや盆踊りなど町の大事な役割を引継ぎます。青年団という半ば強制的だった仕組みから、自発的な組織へと転換していったわけですね。

サンヤレ踊りも若者会が引き継ぎました。10歳下になる市川良彦さんは「私たちの世代も先輩たちから踊りや太鼓・笛・鉦などを教えてもらいました。時代とともに教え方も変わっていったのでしよう。そこまで厳しかった記憶はありませんね(笑)」と話します。

「志那のサンヤレはすべて前の代からの口頭による伝承です。書いたものがない。つまりそれは正調という形がないということ。その時代時代に合わせて少しずつ変化させてきたわけです。今の子どもたちは

10年ほど前にはいいよ役者が揃わなくなり、男子だけで伝えてきたサンヤレに女子にも参加してもらおうように変えました。今年は4人の女の子が入って笛を吹いています。

役をしてくれる若者を集めること。少子化の時代となり、昔なら毎年入ってきた14歳も今では3〜4年に入るといえるという具合。当然、役の入れ替えができないので年齢が上がつても続けることになります。

ユネスコ無形文化遺産に登録された感想を話してくれた和親さんの言葉が印象的です。「とても光栄なこと。一方でプレッシャーも感じています。地元の伝統芸能を次代に継いでいくには、何を残して何を変えていくのか。これは私たちだけでなく、まち全体で考えていかなければいけない。まちの宿題をもらったような気持ちです」

塾やクラブに忙しい。親御さんの理解も必要です。昔のような厳しさは求められない難しい時代です。むしろ楽しく地元の伝統を受け継いでもらえよう、そこは柔軟に対応していきたいですね」

サンヤレを動画で
(市HPより)



常盤

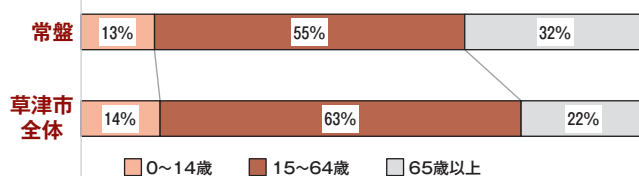
草津市の北西部に位置し、豊かな田園風景が広がる。農業が盛んで、道の駅での野菜直売・体験農園など農業を地域の資源とした活動も活発な地域。また芦浦観音寺をはじめ、古い神社仏閣も多く、ユネスコ無形文化遺産である草津サンヤレも市内7か所のうち5か所が集中するなど歴史遺産も多い。

琵琶湖に面する烏丸半島では水生植物公園みずの森やリニューアルされた県立琵琶湖博物館があり、近年はイナズマロックフェスが開催されるなど、にぎわい創出の場となっている。地域が主体となって地元の豊かな自然や歴史を大切にしながら、愛着と誇りのもてるまちづくりを推進するため、平成24年1月に「人と地域が輝く常盤協議会」が発足。「ふるさと常盤」のまちづくりが進んでいる。

※草津市版地域再生計画「常盤学区まちづくりプラン」より一部抜粋・改訂

- 総人口 : 4,874人 (139,373人)
- 0-14歳 : 645人 (20,185人)
- 15-64歳 : 2,664人 (87,980人)
- 65歳以上 : 1,565人 (31,208人)
- 世帯数 : 1,877戸 (63,636戸)
- 65歳以上の割合 : 32.1% (22.4%)

※外国人を含めた集計/カッコは草津市全体
草津市HPより(令和5年7月31日時点)





(一社) 草津北部まちづくり協議会
下物ビオトープで生き物観察会・みずの森近くの沿道に四季の花を植えるなどの活動で多くの人を楽しませる

ヨシ松明まつり
1月に常盤小6年生がヨシ刈り体験をして乾かしたヨシで、7月にヨシ松明まつりを開催

イナズマロックフェス



県立琵琶湖博物館
琵琶湖博物館の「はしかけ」に登録すると博物館内外で活動できる。現在25グループが活動中。自然や暮らしを調査し博物館に伝えるフィールドレポーター制度もあり、博物館がグッと身近に。

水生植物公園みずの森
ハス・スイレンなどの水生植物のほか四季それぞれの植物を楽しめ、映えスポットも数多し

どこに いるかな  草津市コミュニティ事業団 マスコットキャラクター **まち活マッチ** ×4

マップの中にマッチがいるよ。探してみてネ

サンヤレ踊り
ユネスコ無形文化遺産に認定。市内7か所のうち、矢倉・下笠を除く5ヶ所が常盤に集中。志那中(惣社神社)・片岡(印岐志呂神社)・吉田(三大神社)・長束(春日神社)・志那(志那神社)で奉納



下物観音堂
江戸時代中ごろ、烏丸崎の浜から石造りの観音像が引き上げられ、それを祀るために建てられたと伝わる

津田江ハス観賞台
ハスの群生地が一望できる

西念寺
明治の自由民権運動が盛んだった地

草津湖岸コハクチョウを愛する会
水辺に水鳥観察所を設け、12〜3月上旬に飛来するコハクチョウを観察・調査・環境整備の活動をしている

琵琶湖

蓮海寺
かつて琵琶湖に面したお堂で、広々とした湖と対岸の比叡・比良山を背景に、港の面影を残す常夜灯や水面のハスが美しい、草津八大名所のひとつ。志那町出身の俳諧の祖、山崎宗鑑の句碑がある

志那漁港
琵琶湖の対岸にある坂本や大津とを湖上交通で結び、物資を輸送する重要な地。エリ漁が残る

桜の季節は、のどかな風景が広がる

平湖
イケチョウ貝を母貝とした淡水真珠養殖発祥の地

吉田家
水産業の発展に尽力した吉田虎之助は淡水真珠の父とも言われる。吉田家住宅は滋賀県有形文化財に指定

志那神社
本殿は市内最古級の木造建造物。サンヤレ踊りが奉納される。P2
惣社神社・三大神社・志那神社は志那三郷と呼ばれ藤まつりを開催

三大神社
毎年5月ごろには三大神社藤古木保存会が大切に手入れした美しい砂ずりの藤が見られる

道の駅草津 グリーンプラザからすま
ロックベイガーデン

花摘寺跡
白鳳時代の寺院があったとされる礎石などが出土

印岐志呂神社
浜街道からも見える赤い鳥居。巫女さんの鈴のような実をつけるオガタマノキがある

太子堂
聖徳太子伝説が語られる

芦浦観音寺
信長・秀吉・家康と天下人に関わりがあったとされる。日本遺産にも認定され、春と秋に一般公開

常盤東総合センター
人権啓発の交流拠点としてNPO法人ハート&ライトが運営。地域の高齢者福祉活動も行っている

常盤まちづくりセンター
I.(アイ・ドット)キャンパスが「緑のはらべっこ食堂」を月1回、運営。食べて遊んで元気いっぱい食堂。P7
ときわおにぎりプロジェクトが地元食材にこだわった、食事とおしゃべりの時間を提供。松葉会は地元から聞き取ったお話をまとめ、民話「ふるさとのかおり」を発行。子どもたちに語り継ぐ活動をつづける P7

春日神社(長束)
秀吉五奉行の一人、長束正家が密かに豊臣秀吉をまつたとされ、木造の秀吉像があるといわれる。3年に一度サンヤレ踊りを奉納

安羅神社 P7
新羅の王子天日槍(アメノヒボコ)がまつられる。温石が社宝

穴村診療所 P7
あなむらのもんや 穴村のもんもん

穴村名物 串だんご
吉田玉栄堂で作る串だんご。もんやでの待ち時間のおやつやお土産にと、末広の形に裂いた串に乳首に似せた小さなだんごを刺し、醤油を絡めた素朴な味

橘堂
市の文化財に指定され、3つの顔と6つの手を持つ観音立像がある

宝光寺
木造の薬師如来像が重要文化財に指定。周辺からは白鳳時代の瓦も出土

FEATURE

♪これっくらの

おべんとばこに、
おにぎりちょいとおつめてときわ おにぎりプロジェクト

夏の疲れが始めるこの季節。「夏バテ」ならぬ「秋バテ」なんて言葉もあるようです。そんな時に美味しいおにぎりはいかがですか。昔ばなしでは、コロコロと転がって穴に落ちたり、カニがまんまとサルにとられてしまったりする、日本人のあのソウルフードです。

ここ常盤では、美味しいお米や農産物が獲れる利点を活かしてまちを元気にしようと「ときわ  おにぎりプロジェクト」が始動。「コロコロ」転がるおにぎりのように試行錯誤し、優しく握られたおにぎりのように少しずつ想いを二つにしてきたプロジェクトのこれまでとこれから。さあ、ごはんにしましょう。

おいでやす

うだるような暑さが続く、とある夏の日。常盤まちづくりセンターは朝から活気にあふれていました。

調理室では女性陣が常盤の食材をふんだんに使った料理に腕を振るっています。隣の部屋ではエプロン姿のオジさんたちが、慣れない手つきで弁当箱に盛り付けている姿がどこか愛らしさもあつたりして。

食事を楽しみにした地元の高齢者がここに集まるまで、あと1時間。それまでに80食を用意するのだから手もよく動きまです。そう、今日は「ときわ  おにぎりプロジェクト」による2回目の食事会「おいでやす」の日。

ちなみに今日のメニューは肉じゃがやなすの田楽など10種類（有料）。自慢のご飯はおにぎりではなく、ライスバーガーにしました。こんがり美味しくそうです。驚くのは添えられた漬物や納豆からデザートの「ういうら」

まで、すべて手づくりだということ。見学に来た女子大生が熱心にいろいろの作り方を教わっていました。

そうこうしている間に最初のお客さんがきたようです。

まずはやってみる

「ときわ  おにぎりプロジェクト」の正式名は「常盤地域まちづくりセンター農業振興活性化プロジェクト」。これでは硬すぎて伝わらない、と可愛い通称がついたわけですね。メンバーは現在29名。地元の民生委員や健康推進員、農家、行政職員、まち協職員、ボランティアなど色々な分野の人が集まっています。

きっかけは平成30年の常盤まちづくりセンターの建替えでした。常盤のセンターには地元農業の振興を進めるためのスペースが組み込まれたのです。このスペースを有効に活用しながら常盤の農業を振興するにはどんなことができるのか？県内の農

家レストランを視察するなど模索する年月を経て、おにぎりプロジェクトが2021年のことです。

「考えるばかりでなく、とにかく何かやってみよう、という感じでスタートしました。色々と試行錯誤しながらプロジェクトの軸を見つけていくこと。まずは地元の人自身に常盤の農産物の美味しさを知ってもらいたいと最初の食事会を企画しました。

その時は真冬でもあったので、おにぎりとおでんを中心にしたメニューで、各町内会から50名を招待しました。特に引越してきた新しい住民さんに喜んでもらえたし、これをきっかけに何人かがスタッフとして加わってもらえるのも嬉しかったですね」

おじいちゃんのおにぎり

やりながら考える。おにぎりのスタイルは至る所で発揮されます。なにせ一度に50〜80食の量を用意するのは、経験がないと難



午前	おにぎりプロジェクト
午後	
夜間	
午前	



しいもの。食材の量、それぞれの
おかずが同時にできあがるよう
にする手順と調理時間、盛り付
け方なんかも工夫が必要です。
そこで2回目となる今回は、
何度もメニュー会議をした上で
10食分のリハースルも実施。盛り
付けは写真に撮って、弁当の包装



紙に使いました。1回目の反省
をしつかりと次につなげます。
常盤まちづくりセンターの所
長さんにも聞きました。
「常盤は人口減少と高齢化が
進んでいる地域。まち協でも独
り暮らしの高齢者宅への配食や
日帰り旅行などの事業を実施し
てきました。日帰り旅行では独
り暮らしの男性がしきりと『楽
しいなあ』とつぶやいていたのが
心に残ってたんですね。それで
今回は食事だけでなく人との
会話も楽しんでもらいたいと、
センターに来てもらうことを考
えました。センターまで来られ
ない高齢者には快く送迎をして
くれるボランティアさんもメン
バーにいてくれるの
で実現できました」

おにぶの活動は始まったばかり。“やりなが
ら考える”試行錯誤は続きますが、夢は膨らみ
ます。「常盤の美味しいお米や農産物を地元の
魅力としてみんなに知ってもらいたいですね。
それを仲立ちにして常盤のつながりをつくって
いきたいし、なにか困難を抱えている人の支え
にもなりたいです。常盤のお米は本当に美味し
い。いくつかの品種が栽培されているので、利
き酒ならぬ利き米なんかもしてみたいですね。
早くプロジェクトの軸をみつけて活動を軌道に
乗せたいです。そのためには若い人たちの参
加が欠かせません。私たちと一緒に、おにぶ
を楽しみませんか」

そうそう、今回の食事会「おいでやす」では、
参加した高齢者から「今度はバイキングがいい
なあ」なんてリクエストもあったのだから。常盤
住民の期待は高まるばかり。これからが楽しみ
ですね。あなたもおにぶに、おいでやす。

HPまちサポくさつなら、常盤学区のおはなしがいっぱい!

緑の
はらぺこ食堂



穴村の
もんもん・
安羅神社



夢を叶えた
ドラえもん



松葉会
「ふるさとの
かおり」



これまでの本誌掲載記事をHPで読むことができます



もじうめスツキリ

常盤にまつわるスツキリ。□に入る5文字を答えてね。

- 問**
- 草津・常盤が輩出した俳諧の祖。
蓬海寺に句碑があります。
やまざき□うかん
 - 志那三郷に咲く、ふくよかな香りの花
□じ
 - 常盤の美味しい食材を活かしたプロジェクトがスタート
おに□りプロジェクト
 - 烏丸半島で開催される音楽の祭典
イナズ□ロックフェス
 - 平成30年に建て替えられた常盤のまちづくり拠点
とき□まちづくりセンター



応募方法

ハガキに①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

※切 10月18日(水) 必着

宛先

〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号
キラリエ草津 5F
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ10月号」係
✉ com-com@mx.biwa.ne.jp
☎ 565-0411

プレゼント

応募いただいた中から抽選で
「洋菓子工房エス・ヴェール」
(浜街道沿い)のご利用券
(1000円相当)を5名様にプレゼント。



表紙の写真

この風景を守りたい



木下範明さん(志那中町)

父から田を受け継いで20年余り。

地元農家にとっては高齢化と後継者不足は深刻な問題です。「この辺りは農業振興地域なので農地以外の転用はできません。高齢で作業ができなくなると放棄するか他所にお願いするしかありません」。木下さんは地元の人から田んぼを頼まれると可能な限り引き受けます。「生まれ育ったこの田園風景を守りたい。そのためには私ら世代でできることはしていきたいですね」と木下さん。

今は約30ヘクタールもの田んぼを世話するのに大忙しの日々。田んぼを続けていくことは大変ですが、幸い息子さんが「跡を継いでみようかな」なんて言い出してくれているのだとか。



ポイズ 常盤のここが好き!



「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費削減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかなっています。